



菊池 由紀夫 議員 (新興会)

一括質問方式

新たな農業・農村政策の展開は

規制緩和の大きな流れが、農業・労働・医療の分野へと大きく動き始め、農業分野においては新基本計画が示され、新たな農業・農村政策が展開される。国の成長戦略進化のため、規制改革会議に続き、産業競争力会議では農協・農業委員会・農業生産法人のあり方を明記し、今までにない改革が強力に図られる。

1. 農地中間管理機構創設に伴う行政負担の増加に、どのように対処していくか。

2. 経営所得安定対策と、米政策の見直しに伴う産地の位置付けを高めるための表敬訪問トップセールスの重要性が高まっている。今後どのように対処していくか。

3. 日本型直接支払制度の創設に伴い、地域格差を生じさせない取り組みの必要性による財源確保を含め、今後どのような工程を組み、具現化していくのか。

農地中間管理機構と直接支払制度は

問.....
農地中間管理機構から、多くの業務が市に委託されることにより、人的・財政的に負担が増えることが想定されるが、どのように対処していくか。

答.....
農業を足腰の強い産業にしていくための産業政策と、農業の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域政策を一体的に推進することを目的とし、農地の加速度的取り組みの推進は、高齢化が進む本市においても担い手育成の有効な施策として、有益的に活用し、課題解決を図っていききたい。事業は国・県の負担となるが、業務は地域の農業を熟知している農業委員会・機関団体と連携し、取り組みたい。

問.....
日本型直接支払制度が地域間で格差を生まないよう、全ての地域で活動計画を策定し、

取り組むべきと考えるが、今後どのように取り組んでいくのか。

答.....
4つ目の改革である農業の多面的機能の維持・発揮のための地域活動や営農活動に対し、支援するための創設された。

農地管理の負担軽減を図る必要から、地域ぐるみでの取り組みを

推進する当該制度の活用は、必須のものと考えている。

多くの地域での取り組みができるよう、農地維持支払いの地区拡大を重点的に行い、資源向上支払への活動の拡充を誘導する手法を進め、地域コミュニティの再生維持につなげたい。



大切にしたい遠野の田園風景

廃屋・空き家対策等の取り組みは

問.....
老朽化した放置空き家が社会問題となっている。適切な管理が行われていない空き家等が、防災、衛生、景観等で地域住民の生活環境に影響を及ぼしているが、その対策は。

答.....
「遠野市空き家等の適正管理及び有効活用に関する条例」制定に向けて取り組んできた。政府における議員

立法の法案が示されており、法案が確定してからこれまで準備してきた内容を活かし、対応していきたい。市内の空き家は平成25年6月調査において382件で、うち廃屋、危険家屋は65件である。

問.....
空き家等の有効活用に当たって、空き家が放置されて管理不全になる前にこれを有効活用し、観光、交流、定住の促進等を図ること

答.....
はどうなっているか。

居住可能な空き家をホームページで公開し、リフォーム助成金を活用しながら移住希望者に提供している。今後は、空き家情報を一元化し、「遠野空き家バンク」を整備し、移住者の増加を図っていく。

子育て支援の対応策は

問.....
「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度から本格施行となるが、市立保育所幼稚園の運営のあり方はどうなっているのか。

答.....
幼保連携型認定こども園が改善され、これまで幼稚園は学校教育法、保育所は児童福祉法と別々の制度により定められていた認可基準や財政措置が一本化される。市内の公立保育所幼稚園は、認定こ

ども園制度を活用し、遠野保育協会に運営をお願いしたいと考え、協議を重ねている。

問.....
遠野わらすっこプランの推進で、「子育て遠野」とあるが、特筆されること

答.....
はどんなことが挙げられるか。

平成26年度事業のうち、「子育てするなら遠野」として特に力を入れて取り組むものは、不妊治療の支援事業の拡充と学力向上対策事業の推進が挙げられる。学力向上対策事業については、教育長を本部長とする「子育てするなら遠野推進本部」を立ち上げ、取り組みを加速させたい。



寒さに負けず外遊びを楽しむ子どもたち

問.....
遠野市保育協会の職員は約260名だが、正規職員は約3分の1で臨時職員比率が高い。この現状が良好と言えるのか。

答.....
正職員の割合を高めたいことが望まれるが、保育協会としても将来の経営上の見通しに立った運営がなされていると思われ。



菊池 邦夫 議員 (新興会)

一問一答方式